

常任・特別委員会の動き

エネルギーの地産地消推進計画 温室効果ガス削減を推進

厚生環境

厚生環境常任委員会は、十二月五日に開催され、陳○(仮称)藤沢市エネルギーの地産地消推進計画の案を、陳情は全て趣旨不承と決定した。

また、①市民病院再整備事業の取組状況等②(仮称)藤沢市エネルギーの地産地消推進計画のあらまし③元気ふじさわ健康プラン藤沢市健康増進計画(第2次)の策定(案)(中間報告)④藤沢市地域福祉計画の策定(中間報告)⑤(仮称)いきいき長寿プランふじさわ2017(藤沢市高齢者保健福祉計画・第6期藤沢市介護保険事業計画)の策定(中間報告)⑥ふじさわ障がい者計画・第4期ふじさわ障がい福祉計画の策定(中間報告)⑦藤沢市ふれあいセンター耐震診断等調査結果(中間報告)——以上七件について報告を受けた第三次産業及び家庭にお



公共施設等での太陽光発電により、電力の地産地消を図る＝リサイクルプラザ藤沢

けるエネルギー消費量が増加傾向にある③第一次産業は、他と比較して需要量が非常に少ない——以上三点がわかった。

また、市内でどれだけのエネルギーを生産できるかという供給可能性を算定した結果、①太陽光発電では、本市の電力需要量の一七％、②太陽熱利用では、本市のエネルギー需要総量の一〇％程度③小水力発電では、電力需要量の二・五％程度④風力発電(陸上・洋上)では、電力需要量の二・五％程度⑤地中熱利用では、エネルギー需要総量の一〇％程度⑥バイオマス活用では、地域や場所により大きく異なるため、需要と供給のバランスを見ながら検討

補正予算常任委員会は、十二月十日に開催され、議案三件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

社会保障・税番号制度 セキュリティ対策を確認

補正予算

補正予算常任委員会は、十二月十日に開催され、議案三件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

また、市内でどれだけのエネルギーを生産できるかという供給可能性を算定した結果、①太陽光発電では、本市の電力需要量の一七％、②太陽熱利用では、本市のエネルギー需要総量の一〇％程度③小水力発電では、電力需要量の二・五％程度④風力発電(陸上・洋上)では、電力需要量の二・五％程度⑤地中熱利用では、エネルギー需要総量の一〇％程度⑥バイオマス活用では、地域や場所により大きく異なるため、需要と供給のバランスを見ながら検討

善行及び辻堂市民センター 再整備の考え方を報告

総務

総務常任委員会は、十二月一日と九日に開催され、一日の委員会では、子ども文教常任委員会との連合審査会の開催を決定した。

また、①社会保障・税番号制度の導入に係る本市の



周辺公共施設の機能集約・複合化を検討する＝善行市民センター

善行及び辻堂市民センター再整備の考え方を報告。再整備の考え方については、市民センター用地と廃止が検討されている平和台住宅の敷地を活用し、周辺公共施設の機能集約や複合化の検討を進めていくものである。

新・行財政改革実行プラン 課題の整理・更新を行う

行政改革

行政改革等特別委員会「カイゼンふじさわ」の結果、十一月十日に開催され、市方針の概要、「新・行財政改革実行プラン」の整理・更新について報告を受けた。

(※1)個人番号…氏名、住所、性別、生年月日と関連付けて、個人に与えられる12桁の番号
(※2)特定個人情報ファイル…個人番号を含む個人情報ファイル